



いわきだより

経営理念

- 1.地域社会の住生活の満足度をより高める。
- 2.資産家の収益の最大化を計り、資産価値をより高める。
- 3.従業員の物心両面の幸せをより高める。

夏前にエアコン点検を！



こんにちは、売買営業部の佐藤です。

ゴールデンウィークが終わり、すこしやすい季節だなあなんて感じていましたが、すぐに暑い日が多くなりましたね。テレビを見ていると5月後半から「真夏日の観測！」や「熱中症で病院へ！」など、梅雨時期前にもそんなニュースが聞こえてきました。

やはり地球温暖化による異常気象でしょうか？

先日気象庁で発表された3ヶ月予報では、全国的に気温は高めだそうです。今年の夏も暑くなりそうなので、高騰している光熱費も気になるところです。今からエアコンがしっかりと動作するかなどを確認し、熱中症対策を始めた方がいいですね。

小名浜マリンブリッジを散策

こんにちは。中央店リーシング部門 斎藤です。

数ヶ月前に、一般開放された小名浜マリンブリッジを散策してまいりました。年に数回しか開放されていない為、とても貴重な体験でした。お天気にも恵まれ気持ちよかったです。

いつも見ているマリンタワーもアクアマリンも、初めてみる景色でとても新鮮。毎年ゴールデンウィーク付近に開放されているようだし、昨年は夏にも開放日があったようです。

いわき市のホームページなどで告知されると思いますので、皆様もチャンスがあったらぜひ散策してみてください！！とてもおススメです(●^o^●)

【小名浜マリンブリッジ】

2018年3月に完成した小名浜東港地区と3号ふ頭を結ぶ連絡橋。全長927M。

史上最高に暑い夏？

こんにちは、植田店リーシング部門の松崎です。

あっという間に今年も半分が過ぎてしまい、これから私の大嫌いな暑い夏がやってきます。

先日テレビのニュースで、今年の夏は猛暑の要因となるラニーニャ現象が発生する可能性が高いと発表していました。

これが発生すると記録的に暑かった去年の夏を上回り、今年は史上最高に暑い夏になる可能性があるそうです。

年々暑さが増していくようで、熱中症対策など気を付けてお過ごしください。

不動産
の
ミニ知識

2024年問題について考える

P 2024年、建設・不動産業界に最も大きな影響が及ぶ
井 と考えられるのが働き方改革関連法案の施行です。
事 朱業 今回は2024年問題から生じる影響や対策について
美部 ご紹介いたします。



働き方改革関連法案の適用

原則「1ヶ月で45時間、1年で360時間以内」という形で、時間外労働上限が厳しく規制されることになりました。建設現場では土曜日などの稼働時間がなくなり、**工期が今までよりも大幅に延長される可能性が高くなります**。またマンションの場合には、**大規模修繕工事のスケジュールへの影響も大きくなる事が懸念されます**。

建築労働人件費上昇と建物価格への影響

右記グラフの通り、コロナウイルス第一波の時期より建築費が高騰し続けています。背景に建設業界における深刻な人手不足の慢性化が一因とされており、建築労働人件費は建築需要が落ち込まない限り、今後も上昇して行くと考えられます。

人手不足により賃金水準が上がることで建築費へ大きな影響を与える可能性があります。

働き方改革関連法案の適用で拍車がかかるかも…。



再配達問題

宅配業者の時間外労働も大幅に規制されたようになったので、物流の停滞も懸念されています。2024年問題の中でも大きな問題となる宅配便の再配達問題において、国土交通省などが再配達削減策を講じていますが、**その決め手として期待されているのが宅配ボックスの設置率向上です**。

LIFULL HOME'S(ライフルホームズ)が行った調査によると、「宅配ボックスあり」を必須条件として物件検索をする人が増えてきているとの事。

再配達を依頼する手間、配達時間に在宅していかなければ、という心理的負担を鑑みれば今後も「宅配ボックスあり」物件の人気は続くと考えられます。

宅配ボックスは入居者にとっても、社会にとっても重要な役割を持つ設備になってきたといえます。

今一度宅配ボックスの設置について考えてみてはいかがでしょう。



4月に施行されたばかりの法案ですが、人手不足による人件費上昇や工期延長などの影響で、今後も建築関連費全体の上昇が考えられます。必要な設備や工事内容を見極めることも大切になってくるでしょう。



株式会社 いわき土地建物

